

障がい特性に応じたコミュニケーション手段の例

手話	手や指の動きなどの視覚情報により意思の疎通等が行われる言語。
触手話	視覚と聴覚に障がいのある方（盲ろう者）が、手話を表現する相手の手に触れて情報を取得するもの。
弱視手話	読み取る人の視力や視野の障がいの状態に応じ、距離や手を動かす幅などを調整して表現される手話。
要約筆記	パソコンやノートに筆記する等の方法で音声情報を要約し、文字等で情報を伝えるもの。
筆談	相互にノートなどに文字を書いて意思の疎通を行うもの。
字幕	音声の要約や説明などの情報を映像の中に文字で表すもの。
点字	平面から盛り上がった6つの点により文字を表現するもの。
指点字	視覚と聴覚に障がいのある方の指を点字タイプライターのキーに見立てて、支援者が指で触れて情報を伝えるもの。
音訳	視覚に障がいのある人向けに、書籍などの視覚情報を音声で録音し、情報を伝えるもの。
拡大文字	視力が低い人の読みやすさに対応するため、文書などの文字が大きく書かれたもの。
代読	障がいのある人に代わって、文書や書籍などを読み上げること。
代筆	障がいのある人に代わって、文字などを書くこと。
平易な表現	二重否定や比喩などを避け、知的障がいのある人などにも分かりやすい言葉や文章、図。
絵図	絵や絵画、図面など、一定の内容が視覚的に表現されたもの。
絵文字	文字に近い機能を果たす絵。
記号	一定の内容を文章などに代わり示す符号や印。
身振り・手振り	感情や意思を手や体の動きで表すもの。
口文字	発声が困難なALS（筋萎縮性側索硬化症）患者などが使用する手段で、口文字を使用する人の口の形（例：「い」）を見て、支援者がその「行」を発音して（例：「い、き、し、ち…」）、まばたきの合図などで一文字ずつ読み取るもの。
透明文字盤	発声が困難なALS患者などが使用する、五十音や数字などが書かれた透明な文字盤。意思等を伝えたい人と読み取る人の間にかざし、視線の方向により一文字ずつ読み取るために使用されるもの。
重度障がい者用意思伝達装置	わずかな身体の動きを感知するスイッチなどにより操作され、操作者の意思等をディスプレイへの文字の表示などにより表すための機器。
パーソナルコンピュータ等の情報機器	情報を処理したり、伝達・加工するための機器。障がい特性に応じてソフトウェアやハードウェアを組み合わせ使用される。